

公益財団法人JKA補助事業（競輪） 「2021年度 福祉機器の整備」について

この度、公益財団法人JKA様より補助を受けて、福祉機器（見守り支援ベッド）を5台整備しました。下記のとおり、補助事業の概要等を公表するとともに、補助事業の目的に沿って、ご利用者の福祉向上に努めて参ります。

補助事業主	公益財団法人JKA（競輪）
補助事業名	2021年度 福祉機器の整備
補助事業先	社会福祉法人南魚沼福祉会
配置場所	特別養護老人ホームみなみ園
事業完了日	令和3年12月27日

1 補助事業の概要

これまでは職員が訪室しないとご利用者の状況把握・安全確認が困難であり、訪室することが前提となっていました。特に夜間は職員の配置人数は限られ、ご利用者の安全確認には最も時間を費やしていました。

この度、転落や転倒リスクのあるご利用者に見守り支援ベッド5台を整備し、ベッドからの転落や徘徊時に起きる転倒による骨折事故を減少させることを目的としました。見守り支援ベッドを使用するご利用者の個々の行動パターンを把握・分析を行い、ケアプランに取り入れることによりご利用者の安全な生活と自立支援に結び付けることが出来ます。

また、見守り支援ベッドを安易に使用することは身体拘束につながる恐れがあることから、使用に際してはリスクマネジメント委員会で必要性の有無について十分に検討し、必要なプロセスを踏んで使用するよう取り組んでいます。

2 予想される事業実施効果

ご利用者の転倒等による骨折はベッド上での安静治療が筋肉や体力の衰えを加速させ、寝たきり状態になるリスクが高い傾向にあります。見守り支援ベッドを整備することにより、もうひとつの機械的な見守りの目を加え、転倒等のリスクを軽減でき、ご利用者の生活環境レベルを高める効果が期待できます。また、見守り支援ベッドは、単にご利用者の状態を常時把握しアラームの発生の都度、対応するためのものではなく、アラームの発生時の状況を分析したり、蓄積されたデータを活用することで現状のケアのプロセスや内容を見直す一助となります。見守り支援ベッドを活用しQOLの向上に向けて対応することで、質の高いケアを効果的・効率的に提供し、人材確保や人材育成にも繋げられることが期待できます。

3 本事業により導入した機器

見守り支援ベッド 5台

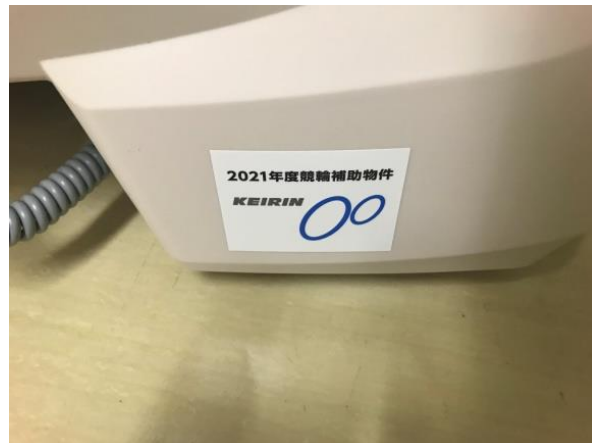
見守り支援ベッドシステムは、ベッド内蔵型センサーによる動作検知でご利用者を見守り、介護従事者の負担軽減をサポートします。

4 導入された機器

見守り支援ベッド 5台



2021年度競輪補助物件



【配置場所】 特別養護老人ホームみなみ園



5 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人南魚沼福祉会

住所： 〒949-6428

新潟県南魚沼市五郎丸5-11

代表者： 理事長 阿部 聡

担当部署： 統括事業部 事務局

担当者名： 総務課長 大津則夫

電話番号： 025-775-7525

F A X： 025-778-2155

E-mail： somu@minamiuonuma.or.jp

U R L： <http://minamiuonuma.or.jp>